

## 翻訳にあたってのヒント

### その 36

#### 時速 10 ノット!?

単刀直入に言えば、「時速～ノット」と書かれた日本語は誤りである。なぜならば、英語の”knot”自体に”A nautical mile, or 6080.27 feet, when a ship goes eight miles an hour, her speed is said to be eight knots.”という定義があるように、「1 時間に 1 海里進む速度の単位」を表すからである。つまり、「1 ノット=1 海里/時」であるから、これは正確には、単に「10 ノット」とするか、「時速 18.52 キロメートル」と日本語で書き表さなければならない。

ちなみに、マイルの距離は、陸上と海上（空路）では違う。陸上マイル（land mile）＝1,609.344 m であるのに対し、海上マイル（sea mile or nautical mile；空里[空路マイル、air mile]も同じ）は 1.852 キロメートルである。

#### ◆ 豆知識：

英語で一般的に船のことを、”ship(s)”と言うのは誰でも知っていると思われるが、これも船の種類によって正確に表記するにあたっては注意が必要だ。例えば、軍の船を指すなら「艦艇（各種の軍艦の総称。『艦』は大型のもの、『艇』は小型のものをいう）」というが、民間の船であれば「船舶（大型の船。商法上では、商行為を目的として水上を航行する船で、櫓[ろかい]船以外のもの）」と称し、両方を総称する場合には「艦船（軍艦と船舶。また、艦艇の総称）」とするように、厳密な使い分けが必要である。

また「軍艦」のことは”warship”と言うが、「戦艦」は”battleship”と称する。特に戦艦と呼ばれる艦艇は軍艦のうち 10 インチ以上の大口径砲を搭載した主力艦だけのことを指し、現在は航空機やミサイルの発達によって無用の長物と化し今は存在しないそうだ（最後の出動は 1991 年の湾岸戦争時だそうである）。

さらに奇をてらったところでは、英語で「軍艦」のことを”man of war”と呼んだりすることがある。これは、船を人称代名詞で受ける場合には女性形になることを考えると不思議な現象で、この他にも merchantman（商船）、Flying Dutchman（さまよえるオランダ船：これを見た者が不運に見舞われると信じられていた、嵐の日に喜望峰沖に姿を現したという幽霊船）のように船を man で表す場合があるということも付記しておこう。

以上これにて第 36 回目終わり。